

三、
其名洪松光ある郷土
ハ重折る黒潮不斷の努力
茂しき御代の理想
若き生けの化に捧ぐ
綱領高き揚り
健児八百波が名洪商
伸びゆく緑芽若松我等



一、朝日直刺す富士の秀峰
夕陽かよう洪名淡海
曳くや霞の曳馬の野辺に
緑芽伸びゆく若松我等
神君築く雄伏の城趾
国学の粹高詔す翁

若松我等

題字は初代監督 松島正吉先生

陸上部後援会誌

S 61. 3 Vol. 2-1



V3に向けていよいよ発進



●学校長 太田 正巳

金沢でのインターハイ5位、都大路を駆け抜ける全国駅伝8位を始め、昨年の各種大会における輝かしい活躍は名将山下、中園両先生の指導のもと、部員一同が練習の中で培った「知力・体力・気力」を結集し、それを力一杯発揮した成果であり、陸上王国浜商の名をますます全国に高らしたものであります。

その間、後援会・父母の会の皆様よりいただいた物心両面にわたってのご援助は、部員一同大きな励みや支えとして、終生忘れることはありません。

ご承知のごとく、陸上部は戦後の混乱期に創設以来、後援会・父母の会の皆様に支えていただきながら、先輩の築いたすばらしい伝統の上に、陸上競技を通じその時々の若人の夢を育み続け、多くの人材を輩出してまいりました。

1つの目的を達成するためには「指導と素質と環境」の三要素が必要であるとはよく言われるところでありますが、浜商陸上部についてそのことを考えますとき、まさに条件は整っており、文字どおり、今こそ「V3へ向けて」応援歌にいう「立つべき秋」が来ていることを感じます。新年度を迎えるにあたり、顧問をはじめ部員一同寸暇を惜しんで練習を重ねることを誓っております。先輩の築いたすばらしい伝統の上に、必ずや新しい一頁を加えてくれる——私は固く信じて疑いません。

終わりにあたり、日頃の数々のご高配に感謝の意を表すると共に、今後ともの変遷変わらせぬご指導とご鞭撻の程をお願い申し上げます、ご挨拶といたします。



●現陸上部監督 山下 昌彦

この号が皆様方のもとに届く頃はことのほか寒さの厳しかった冬もおわり、三寒四温の春の日射しも強くなる頃かと思えます。苦楽を共にした3年生とも別れて、現役の1・2年生を相手に、来たる61年度のシーズンを迎えるべく練習に余念がないといったところでしょう。さて今年の目標と言いますと、何んといってもインターハイで3回目の優勝をすることと、全国高校駅伝に三年連続出場をするということになるでしょう。秋までの現有勢力をみてみますと、棒高跳(鈴木伸)の4米80を筆頭に走高跳(村田大川)の2米05・110米H(佐々木)の15秒1・1600米R(小田木・木下・大石・森下)の3分18秒4・5000米(井ノ口佐藤聡)の14分台・三段跳(加藤・辻村)の14米50・やり投(酒井)の61米20等すでに全国的なレベルにあり、冬期練習次第では上位入賞も夢ではありません。残り少ない日々を大切に過ごし、是非ともV3を達成したいものです。もう一つの目標である駅伝は、井ノ口・佐藤・柳瀬・杉山等の入賞経験者を中心に、有望な新人も多数入部し昨年以上の強力なチームになることと確信しています。2時間08分台と6位入賞を目標に掲げたいと思います。以上の二大目標を達成する為に選手共ども全勢力で頑張りますので、何卒皆様方の絶大なる御支援と御鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。冬期練習も順調に仕上がっておりますので御安心下さい。

(年3回発行) 無料

戦い終って

浜商、大健闘の8位

報徳、史上初の3連覇

ゴール寸前に再逆転
高校最高で飾る



好タイム2時間9分41秒
全国高校駅伝競走大会

自主性発揮し快挙達成



浜商魂

7人のサムライ気力で頑張った

1区 竹山和広 3年(10,000m) 31分10 区間16位
「区間10位以内を狙っていたので、やや残念です。あとのメンバーに感謝しています。」

2区 佐藤昇司 3年(3,000m) 8分28秒 区間2位
「竹山が頑張っていていい位置できたので思いきり飛ばした。体調は最高で距離が短く感じられた。」

3区 佐藤 聡 2年(8,107.5m)25分18秒 区間6位
「好成績で非常にうれしい。本年も伝統を受け継ぎ、必ず上位に食い込みます。」

4区 井ノ口正博 2年(8,087.5m)24分22秒 区間9位
「やっと思った通りの走りが出来ました。うれしくて泣けて、泣けて……」

5区 柳瀬寿光 2年(3,000m) 9分34秒 区間29位
「本番で満足のいくレースが出来た。みんなに迷惑をかけたことを取り戻しました。」

6区 杉山哲康 1年(5,000m) 15分35秒 区間21位
「気力だけはだれにも負けないように走った。最後にタスキがうまくはずれなくて困った。」

7区 沖 利和 3年(5,000m) 15分14秒 区間16位
「最後の大会を最高の成績でかざることが出来てうれしい。浜商に入学して本当によかった。」

第36回全国高校駅伝大会報告

桜花咲く候、皆様におかれましては益々御清勝の事とお慶び申し上げます。

平素は格別なるお引立てに預りまして誠にありがとうございます。

昨年行われました全国駅伝大会には、永年の夢がかない

2時間9分41秒(静岡県高校最高記録)で8位入賞致しました。これもひとえに皆様方の温い御理解、御支援の賜と感謝申し上げます。

今後この成績に甘んずることなく、常に高い目標を掲げて努力してまいる所存です。皆様方にはなお一層後援会に御指導、御協力をお願い致します。

浜商陸上競技部後援会会長

太田 稔

花便りがあちこちで聞こえる季節となつてまいりました。旧年中は金沢インターハイに、全国高校駅伝に、多大な御支援をいただき誠にありがとうございました。おかげをもちまして、暮の全国駅伝にはみごとに8位入賞を果たし、皆様の御期待に添うことができました。

1区竹山(3年)の冷静沈着な判断にて好位置をキープ。2区主将佐藤昇司(3年)が絶好調にとばし、区間2位で13位に浮上、先頭が見える位置にして3区佐藤聡(2年)に10位入賞をたくす。前半押え気味に自重し11位にあがる。後半フル回転で疾風のごとく走り一気に7位に進出。1位との差40秒に締め集中力のすごさをみせつけた。4区井ノ口(2年)は優勝戦々の前6チームに食い込まん一心に走り8位以下との差を十分に広げて入賞確実の快走をみせた。5区柳瀬(2年)のすばらしい頑張りと一緒に生杉山の落ちついた6区の走り、アンカー沖(3年)が死力を尽して逃げて、2時間09分41秒(静岡県最高)の大記録を出し第8位入賞。ドラマチックな歴史を我が浜商陸上部にもたらした。

「やった」「やった」心から叫びました。京都におられた方々と手を取りあって喜びました。全国にちらばっている先輩達にもテレビで、新聞でいち早くみてほしいなあと心から思いました。皆様の心暖まる声援に応えられて私も満足でした。ありがとうございました。

昭和61年もシーズン間近になりました。本年も昨年以上に頑張ります。よろしく御支援下さいませようお願い申し上げます。

浜商陸上部監督 第9回春

山下 昌彦

収 支 報 告

賛助金	3,356,800	学 校 助 成 金	1,600,000
		応援費用(バス代他)	516,040
		粗 品 代	300,000
		応 援 の ほ り 代	84,000
		雑 費	150,000
		繰 越 金	706,760

●昭和60年度陸上部卒業生進路先

31 平田 一貴 アスモ	37 坂田 吉隆 日本健康増進研究所
32 渥美 忠子 住電イゲタロイ	〃 佐野 正明 スチールセンター
〃 内山 拓也 鈴木自動車工業	34 竹山 和宏 法政大学(経済学部)
〃 近藤 弘子 富士電気化学	35 市川 正巳 独協大学(経済学部)
〃 野田 幸博 浜松西農協	38 佐藤 昇司 進学
33 岡本 成弘 名鉄観光サービス	〃 吉田 健一 筑波大学(体育学部)
〃 鈴木美津子 高丘技研工業	39 小山 幸久 進学
34 牛田 悟 国家公務員(郵政)	〃 杉江 弘篤 進学
〃 西宮 宏悦 名鉄ストア	〃 沖 利和 進学
35 大森 和恵 川崎製鉄千葉	〃 豊田祥之 岐阜経済大学

61年度年会費を収めて下さい。(¥5,000)

振込先/静岡銀行二俣支店 口座番号156322
浜商陸上部後援会宛



●グランド造り（昭24～25年）（ハード面）

前号で申し述べましたように同志は集って参りましたが練習の場がありませんでした。戦災に荒れはてた焼け跡ではどうしようもない。そこで、始められたのが部員の鉄とスコップによる手作業のグランド造りである。

一周250m巾10mのトラックと直線120mの走路である。50cmほど掘り起こして下層よりコークスのガラ、その上に小粒のふるったガラ、最上層に篩で篩った土と三層にならした上をローラーで展圧したものである。石炭ガラは先輩の勤めていた工機部に話をして譲って頂いたものであり、当時は大分石炭の消費が減って可成り貴重品になりかけておった頃であった。グランドの一隅に積んでおいたコークスの山を見て近所の大手土建業者が譲ってくれといってきたものである。

練習の合間を見て行うのであるから当然冬期の作業が多くなる。まあ一冬期練習を棒に振っての大工事であった。明けても暮れても凍てついた北西風に吹きつけられての土木作業であったが、大きな希望に向っての苦労であったので部員の顔面にも生気があった。

特別北海道から取り寄せたクローバーがあちこちに芽を吹き出した頃には、うすい日の光が我心ヶ丘にもふりそそぎはじめた。



昭和25.5.28 西部大会800m決勝の接戦

1着 岡村 隆(浜商1年) 2分10秒00

2着 吉田耕三(浜商3年) 2分10秒05

●環境づくり（ソフト面）

場所づくりと並行して行われたのが心情面のムードづくりでした。敗戦後間もなく世情は荒廃して我心ヶ丘の学園も廃墟のようやぐバラック建て校舎が一棟復興したばかりでした。この時代に必要なものは精神面の確立だったわけです。

幸い陸上部に集った面々はこの点部の基礎づくりにはふさわしい人達ばかりでした。生徒会長、副会長をつとめて居った吉田耕三君や松島秀夫君がこの中心になっておられたということも、部員の集まりにも又将来を約束された部風づくりにも大変貢献されたことだったと思われまします。いまOBの会合でよく展開される「怒濤逆巻く」の大合唱は当時よく聞かれたものでした。1日のスケジュールをこなして、暮れゆく西空を仰ぎながら、程よく流した汗の肩を、友と組み合せてゆっくり合唱するあのメロディーのさわやかさは、誰も忘れ得ない青春の思い出でしょう。

部の活動の根源は部室にある。部員の心の流通も、部風の造成も部室での生活から醸成されることが多い。したがって部室の雰囲気や整理整頓は大切なことである。

当時浜商には生徒会の主催で教室や部室の清掃のコンクールが行われましたが、陸上競技部の部室はよく表彰されました。

後日談になりますが、昭和28年全国大会優勝後でしたが、小田原高校の武井監督が参観に参りましたが真先に部室を見せてほしいと申し出られました。因みに小田原高校はその後もなく全国優勝を致しました。(次号に)

▶スポットライト



●16回卒 森 幸男君

生年月日 昭和21年1月21日(生) 40才

住 所 浜松市半田町4887-8

家族は妻と子供2人

勤 務 先 遠鉄石油(石油販売業)

営業部勤務

競 技 浜商に在学中は中長距離をやっていました。

岡村 隆先生の最後の生徒です。

趣 味 ゴルフ、カラオケです。タバコ、酒は少々、人に尽すことをモットーにし現陸上部OB会の副会長、会の発展のために日夜努力している姿は誠に頭の下がる思いです。



クラブ便り——●会長 川島 忠

ゴルフ愛好会(怒濤会)

陸上部OBによるゴルフ同好の集い(怒濤会)も発足以来、会員諸兄の御理解と御支援により親睦と交歓の場として、骨格形成が出来ました事に厚く御礼を申し上げる次第です。初三年目を迎えるに当り過般2月1日(土)役員会を開催し、①任期満了に共なる次期役員候補者の選出依頼。②会則補則改正案の検討。③今期怒濤会運営に付いての問題点。④ハンデキャップ委員による新ハンデの決定。⑤収支決算及び会計監査依頼等討議を重ねた結果を次回総会に上程致し、会員諸兄の御意向を仰ぐ所存です。尚61年度親睦コンペ開催を4月27日(日)豊岡国際カントリーにて開催の計画を致して居り、近々に事務局より御案内を申し上げますので奮って多数の御参加を戴きます様御願ひ致します。



新ハンデキャップ決まる

	HCP		HCP		HCP
長屋 勝美	0	井熊 峯吉	14	渡辺 正幸	25
川島 忠	8	高瀬 隆	16	寺田 光男	25
鈴木 章介	9	深谷 泰一	18	太田 稔	26
相曾 昌司	10	鈴木 基司	18	山下 昌彦	30
山内 良夫	10	鈴木久仁英	18	鈴木 修三	30
大鷹 莊亮	12	小池 篤	18	長谷 晃	30
伊奈 誠治	12	加藤 雅敏	22	天野 武由	30
金原 克司	12	竹田 公俊	22	石津 守康	30
伊藤 忠弘	12	岩井 澄雄	22	(新入会員)	
鈴木 繁弘	14	牧野 義守	24	杉田 清	
杉田 勉	14	森 幸男	24	堀江 正夫	
松浦 修	14	吉川 泰嘉	25	齊藤 敏幸	

盛大な集い



恩師、松島正吉先生（浜商陸上部・初代監督）を囲む集いが、新春1月11日（土）に催され御多忙の処、遠路県外からも多数の御参加を含め、50名の御出席を戴き、心から厚く御礼申し上げます。光陰矢の如し、とは申すものの30数年頭髪に白きもの感ずる世代、宴

は続き、歓談に時の過ぎ行くを忘れ、恩師を囲み旧聞に耳を傾け、美酒酌み交し、学窓の絆、万感胸に迫るもの（在り）出席者全員次回再会を約し散会する。 3卒 川島 忠

第3回～第11回卒業生OB



松島正吉先生を囲む集い

式次第

1. 開会の辞
2. お礼のこぼし
3. 松島先生謝辞
4. 世話人紹介
5. 現況報告
6. 記念品贈呈
7. 花束贈呈
8. 乾杯
9. 次回開催に関する提案、討議
10. 校歌斉唱
11. 万才三唱
12. 閉会の辞

御礼

過日、正月11日の浜松グランドホテルにおける「囲む集い」の会は本当に有難うございました。はじめ幹事の方から計画のあることを伺った時は、もう少し手軽な会かと思っておったところ、あのような豪華な会場で、あのように多勢の皆様方が、札幌をはじめ全国の各地から、年初めのご多忙の中を賑々しくご参集いただき、しかも暖かい心のこもった記念品までいただき、真に身に余る光栄と深く深く感謝申上げる次第であります。

特に卒業以来30年余りも、お目にかからなかった方々も多数ありまして、ほんとうに懐しく、大へんうれしく、立派に出世なさっておりまして、30年前の童顔が二重映しにされ、特に私に向けられた励ましの言葉、いたわりの言葉の一つひとつが私の胸底に嬉しくしみわたりました。

教職40有余年、よわい古希にして私は「教師になってよかった」と感謝の万感がこみあげてくるのを覚えました。今後は、松島・岡村・山下と受け継がれた浜商陸上部の愈々の発展を楽しみに、ますますの栄冠を祈って余生を大事にしていきたいと存じております。

卒業生の皆様方の一層の御健闘をお祈り申し上げます。

松島 正吉

出席者名簿

松島 先生	石津 守康	松浦 修
3回 鈴木 勇	鈴木 章介	松川 浩造
川島 忠	鈴木 修三	増田 慧
4回 川合 克巳	太田 富夫	守屋 利次
杉田 清	山田 章次	山下 昌彦
堀江 正夫	長屋 勝美	吉川 泰嘉
鈴木 賢治	伊代田茂司	11回 伊奈 誠治
5回 大畑 弘	中村 淳二	内山 俊郎
岡村 隆	寺田 雅則	鈴木 真平
松井 喜宣	兼松 孝佑	杉山 真通
松山 圭吾	8回 尾上 和隆	花木 一雄
6回 大鷹 莊亮	山内 良夫	藤田 昇
加藤 寛治	伊藤 元	渡辺 正幸
松本 邦平	9回 伊藤 一夫	大前 正義
鈴木 康彦	伊藤 忠弘	加藤 順康
松田 恒	小松 淳二	16回（後援会副会長）
鈴木 善二郎	杉田 勉	森 幸男
7回 井熊 峯吉	鈴木 基司	

浜商陸上部（父母の会）卒業生OB 懇親会

今年も大勢の同志を集めて2月9日（日）浜松市の地場会館特設会場で盛大に行われました。本年度の幹事は第7回、第17回、第27回、第37回卒業の陸上部のOBでした。

最初に（7卒）の鈴木章介氏の開会の辞に始まり、校歌斉唱、そして、松島初代監督の挨拶、歴代監督、太田学校長の熱のこもった挨拶でいよいよ盛り上って来ました。100人を超える参加者の面々には今年の浜商陸上部は又大きな成果を上げてくれることだろうとの期待感で満ち溢れていました。そして太田後援会長の熱弁は更に（やらまいか）精神の輪を増々大きく広げて行く様でした。3卒の川島忠氏の乾杯の音頭は、まさしく浜商の門をくぐった人、そして子供を浜商に預けた親のみが知る熱い感動でした。一番印象に残ったシーンは、カラオケ大会、カラーテレビが当たる抽せん会よりも、松島先生がV1当時を想い出して6卒の鈴木康彦氏、大鷹莊亮氏等と歓談されている姿でした。最後に来年も又8卒他の皆様でこの会を開催して頂くことを約束して閉会しました。



あいさつに立つ松島初代監督

●お悔み申し上げます

11回卒・伊奈誠治氏の実父・伊藤定治さん（72才）は去る2月11日浜松医療センターにてご逝去されました。

編集部より

今年も又皆様のご協力をお願いします。編集にあたり浜商健児の心意気が身体に伝わってきます。皆様の身近な出来事、又は会員の慶び事、事報等をご遠慮なく連絡して下さい。そして、紙面もだんだん充実していきたいと思えます。第3号の完成にご協力ありがとうございました。

※紙面の都合で「あの人は今」は掲載しません。